

【6-A】陶原連区 社会条件

【連区の概要】

陶原連区は瀬戸市中央部の西寄りに位置する。連区の北東部には古くからのやきもの産業関連施設が点在しているが、南部はほとんどが住宅地である。主要道路としては国道155号、国道363号、県道57号などが存在している。鉄道は連区内には存在しないが、近隣に名鉄瀬戸線の尾張瀬戸駅が存在する。

陶原連区



【人口および世帯数】

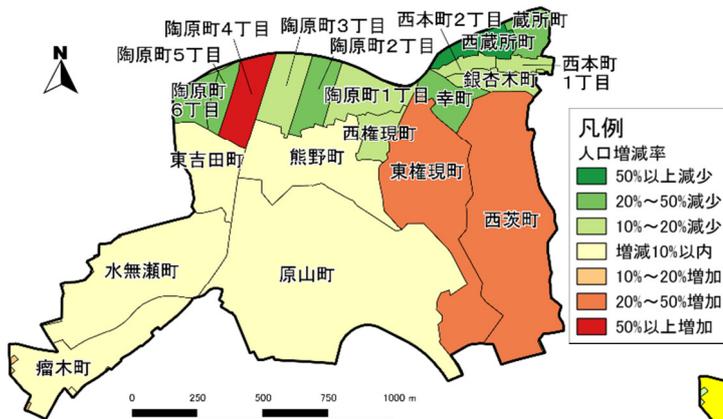
平成12年から平成22年までの10年間で、陶原連区全体の人口は8,006人から8,033人と0.3%増加しているが、陶原町4丁目、東権現町、西茨町を除き、ほぼ全域で減少傾向である。また世帯数は2,865世帯から3,072世帯と7.2%増加している。

陶原連区全体の65歳以上人口比率が25.9%と、瀬戸市全体の23.3%と比べて2.6%とわずかながら高い。陶原町4丁目、東権現町、西本町1丁目では、65歳以上人口比率が比較的低いが、他の地域ではやや高い。

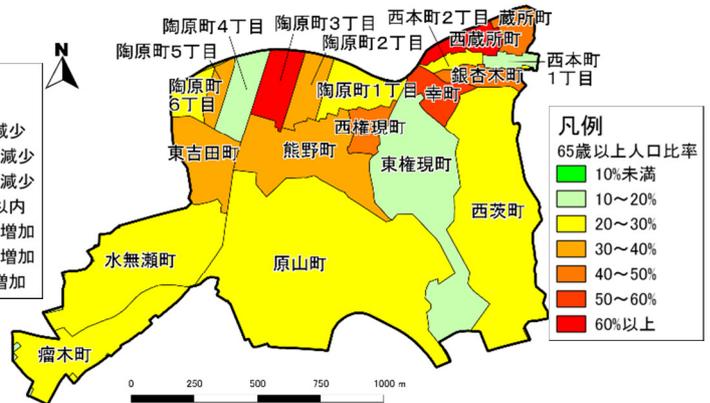
階層別人口構成

年代	人口	構成比
0～14歳	1,049人	13.1%
15～64歳	4,870人	61.0%
65歳以上	2,065人	25.9%
区分不明	49人	-
連区内人口	8,033人	

※平成22年国勢調査結果より



人口増減率図



65歳以上人口比率図

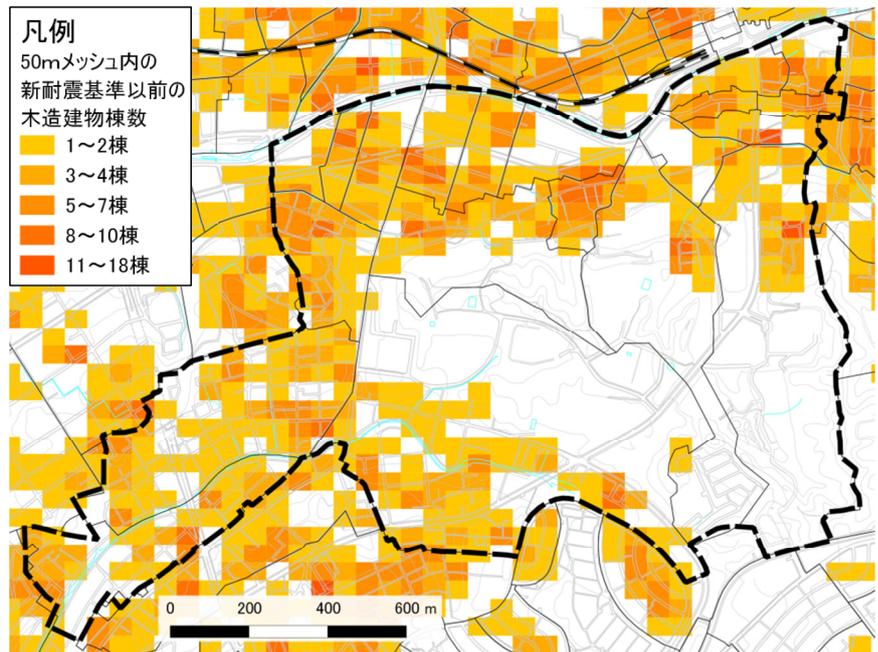
【建物】

陶原連区の木造建物および非木造建物の割合は、木造建物65.1%、非木造建物34.9%である。新耐震基準以前（昭和55年以前）の木造建物は全建物の36.6%であり、瀬戸市全体の34.3%に比べて若干高く、連区北部の市街地に集中している。

木造・非木造構成

	建築年	棟数	構成比
木造	S35年以前	547棟	18.6%
	S36～55年	530棟	18.0%
	S56年以降	840棟	28.5%
	計	1,917棟	65.1%
非木造	S45年以前	385棟	13.1%
	S46～55年	227棟	7.7%
	S56年以降	416棟	14.1%
	計	1,028棟	34.9%
連区内棟数		2,945棟	100.0%

※平成23年度都市計画基礎調査
建物利用現況図をもとに集計



新耐震基準以前の木造建物分布図

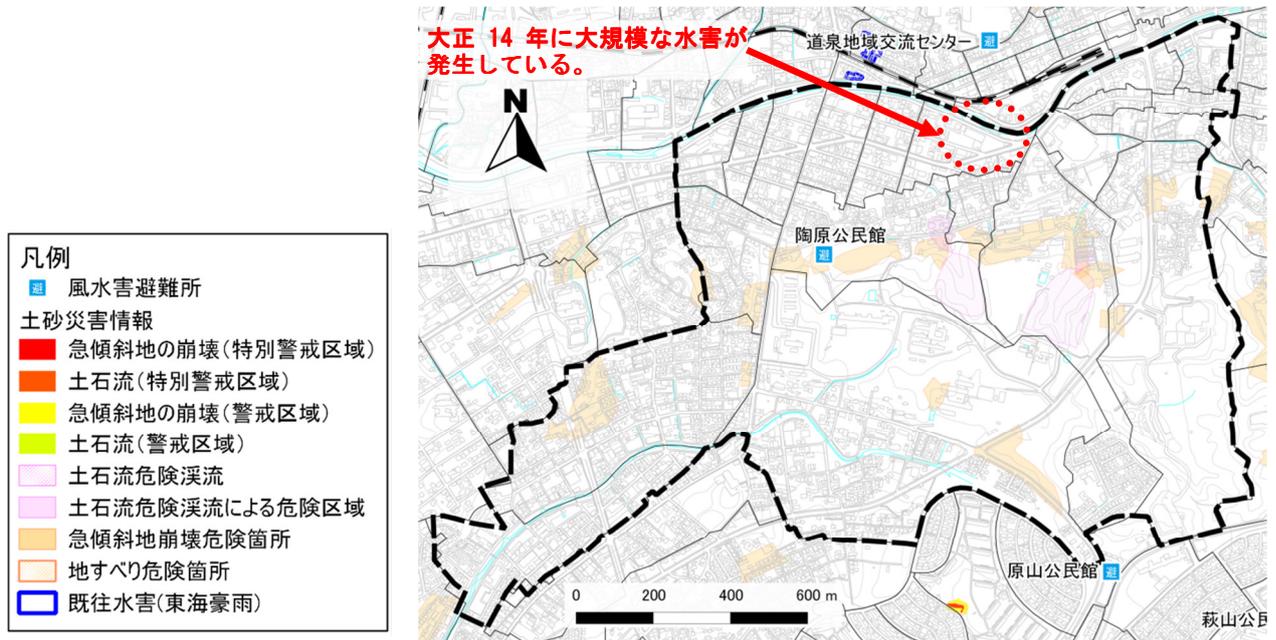
【6-B】陶原連区 水害および土砂災害

- 過去に大規模な水害が発生している。
- 連区南西部に風水害時の避難所までの距離が離れている地域が存在する。

【水害および土砂災害箇所】

陶原連区では、浸水想定区域は設定されていないが、大正14年に大規模な水害が発生している。

また土砂災害特別警戒区域および土砂災害警戒区域に指定されている箇所はないが、熊野町および東権現町、水無瀬町の丘陵地で急傾斜地崩壊危険箇所または土石流危険渓流などがある。



水害・土砂災害危険度図

【風水害時の避難所および緊急避難場所】

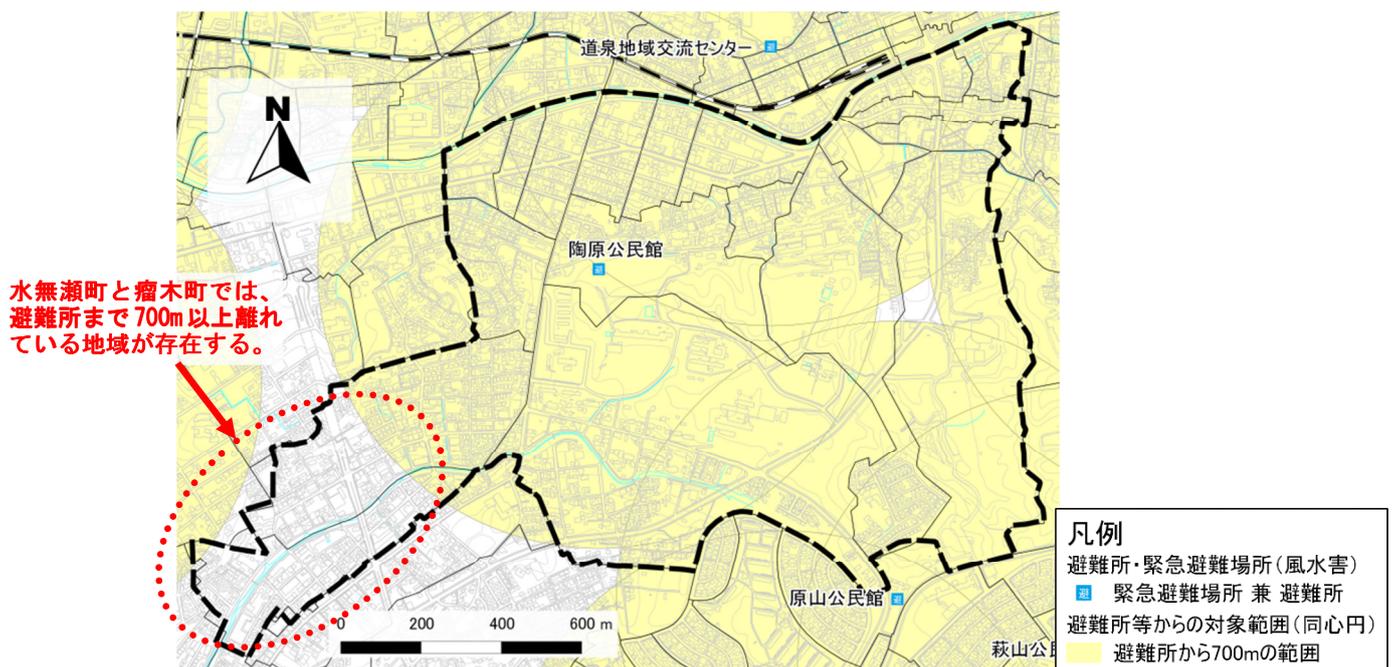
陶原連区では陶原公民館が風水害時の避難所・緊急避難場所として指定されている。近隣連区の避難所も含めると、水無瀬町と瘤木町を除き、700m以内に風水害時の避難所が存在する。

風水害時の避難所が近隣に存在しない水無瀬町および瘤木町では、避難所への近接性が良くないことを周知するとともに、早めの避難を促すなど、避難体制を整える必要がある。

風水害時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所・避難所	収容定員(目安)		
	長期	初期	直後
陶原公民館	60人	115人	185人
原山公民館【菱野団地】	35人	75人	120人
道泉地域交流センター【道泉連区】	45人	90人	145人

※地域防災計画より



風水害時の避難所・緊急避難場所の対象範囲図

【6-C】陶原連区 地震災害

- 連区北東部と南部にて耐震性の低い建物が倒壊する割合が高い。
- 連区の全域にて、近隣に地震時の避難所が存在する。

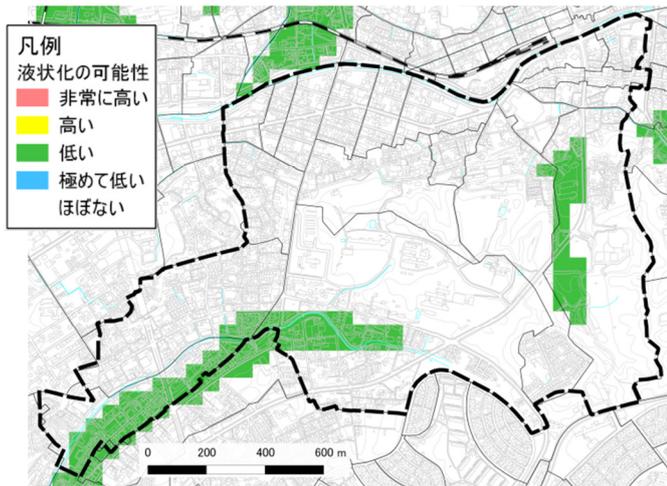
【建物被害および液状化】

(1) 建物被害について

陶原連区はほぼ全域にて、耐震性の低い建物が倒壊する危険性がある。このうち、連区北東部（西本町1～2丁目、西蔵所町）および南部（原山町）において、耐震性の低い建物が倒壊する割合が高い傾向がある。

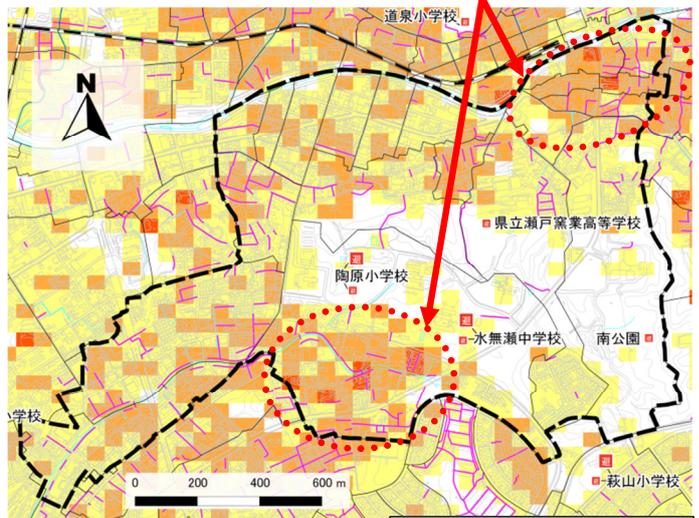
(2) 液状化について

液状化の可能性がある地域は、主に水無瀬川の沖積低地（谷底平野）に存在する。

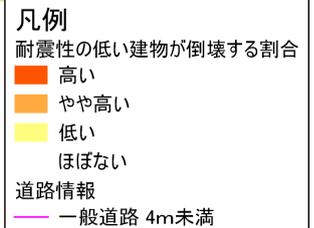


液状化危険度図

耐震性の低い建物が倒壊する割合が高い。



建物(木造および非木造)倒壊危険度図



【地震時の避難所および緊急避難場所】

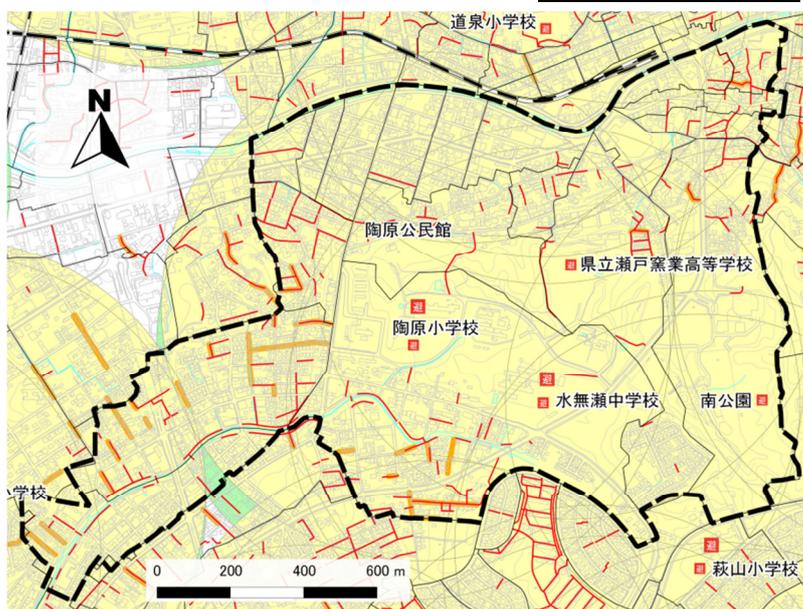
陶原連区では、地震時の緊急避難場所として陶原小学校、水無瀬中学校、南公園、県立瀬戸窯業高等学校の4ヶ所、避難所として陶原小学校、水無瀬中学校の2ヶ所が指定されている。

近隣連区の広域地震避難場所なども含めて、連区全域において700m以内に地震時の避難所もしくは緊急避難場所が存在する。

地震時の避難所・緊急避難場所一覧

緊急避難場所	避難所	収容定員(目安)		
		長期	初期	直後
陶原小学校(運動場)	陶原小学校	135人	275人	445人
水無瀬中学校(運動場)	水無瀬中学校	210人	420人	685人
南公園(野球場等)				
県立瀬戸窯業高等学校(運動場)				

※地域防災計画より



地震時の避難所・緊急避難場所の対象範囲図

